

会 議 録

会 議 の 名 称	平成 2 9 年 度 第 1 回 行 田 市 市 民 公 益 活 動 推 進 委 員 会
開 催 日 時	平成 2 9 年 7 月 2 0 日（木）開会 10 時 00 分・閉会 11 時 40 分
開 催 場 所	行 田 市 商 工 セ ン タ ー 4 0 1 研 修 室
出 席 者 氏 名	串 田 隆 義 金 原 二 郎 園 田 佳 代 子 新 井 俊 夫（代理：清水威夫） 稲 葉 誠 一 今 村 武 蔵 加 藤 智 宏 石 橋 和 夫 松 井 秀 二 郎 智 田 輝 史 駒 見 行 彦 田 尻 要 川 村 達 也 川 村 睦 子 岡 戸 修 平 黒 木 忍（オブザーバー） 早 川 征 太（オブザーバー） ※敬称略
欠 席 者 氏 名	織 田 和 美 細 谷 茂 樹 黒 澤 典 弘 ※同上
事 務 局	【地域づくり支援課】吉田主幹、内沼主査、西尾主任及び市民活動サポートセンター職員（高橋）
会 議 内 容	1 開 会 2 委 嘱 状 交 付 3 委 員 長 挨 拶 4 議 題 (1)市民活動やる気応援助成金の審査について (2)市民活動サポートセンターの活用について (3)市民公益活動推進基本計画の推進について (4)その他 5 閉 会
会 議 資 料	(1)資料 1 「行田市市民活動やる気応援助成金事業提案書」一式 (2)資料 2 「新たな取組応援事業審査、評価基準表」 (3)資料 3 「行田市市民活動やる気応援助成金交付要綱」 (4)資料 4 「市民活動サポートセンター実績表」 (5)資料 5 「市民公益活動推進基本計画推進体制（案）」
その他必要事項	傍聴人なし

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会 委 員 長 司 会 事 務 局 議 長 議 長 議 長 提 案 者 議 長 智 田 委 員 提 案 者	1 開 会 ・開会を宣言 ・委嘱状の交付（交代のあった委員のみ） ・会議成立の旨の報告（過半数の委員の出席による） ・傍聴者なしの旨の報告 など 2 あいさつ ・あいさつ 3 議 事 ・要綱の規定により、会議の議長を委員長が務める旨の説明 (1)行田市市民活動やる気応援助成金の審査について ・資料2及び資料3に基づき説明 ・ご意見・ご質問等があれば、発言をお願いしたい。 （発言なし） ・昨年度は、3件の応募のうち2件が採用された。 ・協働のまちづくりを進めていくためにも、多くの団体の方に活用いただきたいと考えている。そうした面も念頭に置きながら、審査していただきたい。 ・提案者の入室をお願いする。 （提案者入室） ・10分以内で提案説明をお願いする。 ・資料1「行田市市民活動やる気応援助成金事業提案書」一式に基づき説明 ・ただ今の提案内容について、質疑等があれば発言をお願いしたい。 ・市民に対してはどのように広報していく予定か？ ・既に市内の幼稚園や保育園にチラシを配布しており、加えて図書館や公民館などの公共施設、また、市外からも誘客したいので、熊谷市や鴻巣市、羽生市の市役所や支所、保育園な

今 村 委 員	どを中心に広報していきたいと考えている。 ・また、メンバーに看護師がいるので、その伝手で小児科や産婦人科などにもチラシを置いていただく予定である。 ・ベーゴマ教室と金魚すくい教室をやるとのことだが、ベーゴマは子どもたちには難しいので、木ゴマを用意しておいた方がよいと思う。 ・また、金魚すくいも近頃は不人気で、子どもはやりたがるのだが飼うのが大変なため、保護者が「持って帰ってきたら駄目」と言う。その点、メダカであればペットボトルでも飼えるので、メダカも用意しておくとういと思う。
提 案 者 議 長	・それぞれ協力依頼先に頼んでみたい。 ・他に意見などはあるか。 ・特にないようなので、審査に入りたい。提案者は退室をお願いする。
議 長	(提案者退室) ・委員におかれては、審査基準表に基づき審査・採点いただきたい。記入が終わり次第、事務局が回収に伺う。 (審査・採点) (審査表回収) (集計)
事 務 局	・ニューギョーダコレクション実行委員会の提案については、30 点満点に対して委員の平均点が 27.1 点となったことを報告する。
議 長	・以上で、提案に係る審査を終了する。
議 長	(2)市民活動サポートセンターの活用について
議 長	・続いて、議題(2)について事務局から説明をお願いする。
事 務 局	・資料 4 に基づき説明
議 長	・質疑等、何かあるか。
今 村 委 員	・せっかく職員が配置されているのに、この程度の利用状況で

事務局	は少し寂しい。 ・町のど真ん中であって何故使われていないのか、もったいない。もう少し使い勝手がよければよいと思うが。存在もあまり認知されていないし、あの場所にある意味がない。 ・たとえば、印刷やコピーを無料又は格安で行えたり、20人くらいの大人数でミーティングを行えたりすればよいと思うが、どうか。 ・印刷機器については、例年、財政当局に対し予算を要求しているところではあるが、なかなか思うようにいかない。今後とも諦めずに要求していきながら、少しずつでも環境を整えていけるよう努めたい。 ・大人数でのミーティングを行うことについては、コミュニティセンターみずしろ（以下「コミセン」と表記）内の他の部屋を利用していただくか、或いは事前にお知らせいただければ、テーブルと椅子を他の部屋から持ってくることも可能である。
稲葉委員	・我々のような市民団体は、活動を夜に行うことも多い。使いたいときに閉まっているので、大変とは思いますが夜に開所してはどうか。夜に開いていれば使いたいと常々思っている。
事務局	・市民活動サポートセンター（以下「サポセン」と表記）としては平日17時の閉所だが、交流スペースについては、夜間や日曜日などの閉所時間でも、コミセンが開いている時間であればうまく利用できるような形を考えていきたい。 ・なお、どの団体が利用したかは把握しておきたいので、その辺りが分かるような形で調整していきたい。
松井委員	・資料をコピーするにあたり、スーパーなどにあるコピー機であれば1枚5円でできる。活動をしていると頻繁に利用するので、1枚5円にすることで利用してもらえるのであれば、そのような料金設定にできればよい。

事 務 局	・利用する側に「1枚10円ではコンビニと同じ」と受け取られれば、誰もサポセンでコピーなどしない。 ・我々のような市民団体は、コストのかかる・かからないには非常に敏感だ。一度に100枚コピーすることなど日常茶飯事なので、500円と1,000円とでは全然違う。 ・サポセンの職員も一生懸命やってくれているが、何か抜本的なことをやっていかないと、それが生かされていないという印象である。 ・是非は別として、サポセンの前にあったテーブルと椅子もなくなってしまい、ギャラリーまで含めてあの空間ががらんどうとしているので、打ち合わせテーブルを利用していると寂しく感じることもある。 ・サポセンの前で市民が話し合いをしている図というのがあるべき姿のような気がする。現状では憩える場所でもないし“作りました感”が漂っている印象である。 ・コピー料金については、他の公共施設との整合を図る必要もあるため、すぐに下げることは難しい。 ・ただ、市民公益活動推進基本計画にもあるとおり、いずれサポセンは、官ではなく民が運営していく必要があると考えているので、たとえば指定管理者として民間が運営することになった折に対応できれば、とは考えている。
金 原 委 員	・打ち合わせスペースの利用を予約した場合、数台の駐車スペースを確保できるとありがたい。
事 務 局	・コミセン全体の駐車場であるため、現状では難しい。コミセンを利用する方からも、催し物などをやる際に確保したいという話をいただくが、全てお断りしているのが現状である。
今 村 委 員	・サポセンが実施している講演会についてであるが、個人的に講演会というやり方は、主催者が自己満足するために行うものだと考えている。

事務局	・それよりも、身近で活動している方々とのミーティングのような形の方が、むしろ効果的である気がしてならない。 ・私自身も主催者側として講演会を実施したことがあるが、振り返ってみると「よかったな」で終わってしまい、それが自らの行動に結び付かないことを経験として知っている。 ・しかし、それでは意味がないので、一工夫していかななくてはならない。 ・普段から活動されている皆様の側から「こういう形のものをやってほしい」という提案をいただけるとありがたい。できるものから実施していきたい。
松井委員	・駐車場の慢性的な不足も行政課題の一つだろうし、いっそのこと、サポセン自体を旧忍・行田公民館の建物に移転してしまった方がよいのではないか。 ・現在のサポセンは、コミセンの中にあり独立していないので、趣味の活動に興じているだけの方や、目的もなく一日過ごしているだけの方も多く、何というか“自由さ”がない。 ・今回の助成金提案団体の代表者も、資料を見れば分かるとおりに、あれだけの繋がりを築いてきている。そのプロセスそのものが市民活動だと思う。 ・そうして得た繋がりを生かしながら、町を元気にしていく、サポセンにはそういう活動ができる“自由さ”がほしい。
事務局	・そもそも、サポセンをコミセンに設置したのは“みずしろの活用”ということも含めて検討した中で出てきた話なので、必ずしも別の場所ということではなく、まずは現在の場所を周知し活用してもらうことが基本となる。 ・移転という選択肢を視野に入れていく必要があるのだとすれば、それはまだ先の話である。
石橋委員	・今回の講演会の場所がコミセンでないのは、どういう理由でか？

事務局	・今回は、育児中の母親を主なターゲットとしており、託児できる場所の確保という観点からV I V A ぎょうだとしたものである。
石橋委員	・「いつもサポセンで何かやっている」という印象を市民に持ってもらうためにも、この会議自体もコミセンを活用して実施した方がよい。 ・自分たちも使わないような場所を他の方に使ってほしい、というのはちょっと筋が違う気がする。
議長	・確かに石橋委員のおっしゃるとおりである。 ・サポセンの開設から1年9ヶ月が経過した。市民へのPRも重要だが、まずは我々自身がサポセンを活用しなくてはいけない。 ・そして、着実に利用の実績を作っていかなければならない。そのためには、使い難さを改善しなければならない。そのジレンマはあるが、できるところからやっていく。 ・我々が率先して活用していく他ない。ないものねだりをしていても進まない。委員の皆様の協力をお願いしたい。
議長 事務局 議長	(3)市民公益活動推進基本計画の推進について ・続いて、議題(3)について事務局から説明をお願いします。 ・資料5に基づき説明 ・それでは、各委員から平成28年度の取組状況等をご報告いただきたい。
議長	(各委員からの報告) ・各委員におかれては、進捗状況に差はあるものの、積極的に取り組んでいただいております、感謝申し上げます。
事務局 議長	・引き続き、進捗管理を行っていきたい。 ・それぞれの役割はあるが、その役割を越えて互いに声を掛け合いながら、取組みを進めていただきたい。 ・続いて、平成29年度の役割分担を決めたい。特に希望がなけ

議 長	れば、事前に私と事務局とで調整した案を発表させていただきたい。 (役割分担案の発表) ・この案のとおりで宜しいか。
議 長	(異議なく、役割分担の決定) ・是非とも、周りの委員を巻き込みながら、平成 28 年度に未達成で終わった部分についても併せて、進めていただきたい。
議 長 松 井 委 員 石 橋 委 員 事 務 局 議 長 司 会	(4)その他 ・議題(4)について、何かあるか ・「浮き城まつり」についてのお知らせ ・「a m p かわいいサミット」についてのお知らせ ・「市民活動講演会」についてのお知らせ ・これにて議長の職を解かせていただく。 4 閉 会 ・閉会を宣言